

地域	現況・課題	今後の方向性・要望
芝本町 3丁目	<p>○例年、白滝公園で防災訓練をやっている。</p> <p>○新潟地震のときから消防団の人と話し合っている。</p> <p>○新潟地震のときにトイレが困ったということなので、一昨年、三島市の補助をもらって簡易トイレを1000個購入し、防災倉庫に用意している。</p> <p>○ここ数年、『黄色いハンカチ』を使った訓練を実施している。午前7時に異常がない場合は、各戸玄関に黄色いハンカチを出してもらっている。それを各組長が見て回り、報告する。今年も参加者が多かった。みんな地震に対して関心が高いようだ。</p>	
一番町	<p>○今月の18日に防災訓練を予定している。</p> <p>○仕事をしている人が多いので、炊き出し訓練には抵抗があるようだ。地域の人達の各お店の中での協力をお願いするような形になると思う。</p> <p>○かつて1次避難所に指定されていた市民文化会館には防災倉庫が設置されているが、市民文化会館は全国の警察の援助隊の本部になるという話を聞いた。そうすると一番町の1次避難所として使えるところがない。そこで楽寿園の北側の森のところの1次避難の受付を設けようかと考えている。ただ、防災倉庫まで距離があるので、若い人に活躍してもらう必要がある。</p>	<p>○『黄色いハンカチ』を近日中に手配して、これから各戸に配っていききたい。</p> <p>○他の自治体に比べて後れているので、追いつきたい。</p>
中央町 2区	<p>○9月下旬ごろに防災訓練を行った。</p> <p>○震災が起きたことを想定して、崩壊した建物から人を助け出す訓練を行った。ジャッキやチェーンソーを使った。助け出された人は毛布を使って作った担架で運び出した。</p> <p>○クラッシュ症候群について資料を用意して説明した。阪神大震災での死亡率が多かったということで、軽視できない。</p> <p>○AEDの訓練を行った。</p> <p>○簡単な消火器の訓練は毎年やっている。</p>	<p>●崩壊した建物から人を助け出すのにジャッキは非常に有効である。(市長)</p> <p>●静岡県内の地域では、夜間の救出訓練や、取り壊す予定の家を使った訓練を行っている例もある。(市長)</p>
シヤルマン コーポ	<p>○7月に防災訓練を行った。</p> <p>○今年で15回目になるが、年々参加者は減っている。</p> <p>○参加者を増やそうと、例年にはない訓練をとり</p>	

	<p>入れた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市長に来てもらって、マンションにおける災害の話をしてもらった。 ○小・中・高校生を戦力化したいとの思いから、22名の受け入れ訓練を行った。 ○はしご車で8階から2名の救出訓練を行った。 ○例年に比べて参加者は3割増だが、全体で見ると約3割の参加である。小中高校生の参加も25%程度である。 ○お菓子や弁当の参加賞を用意したが、効果があったのかは疑問だ。 	
加茂川町1区	<ul style="list-style-type: none"> ○9月の初めに、加茂川町2区と合同で防災訓練を行った。 ○参加者が少ないということが一番の問題点である。今年もあまり多くなかった。 ○何か新しいことを行わなければならないと思ったが、考える時間がなかった。 ○例年通り、消火器、チェーンソー、救護訓練等を行った。 ○今年は中高生の参加が比較的多かった。証明のはんこをもらいに来ただけの高校生もいた。 ○町内会の組長には事前に組長会議でヘルメットを渡し、半強制的に参加してもらった。 ○組長の中には初めて消火器を使ったという人もいたので、実施してよかった。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○マンネリ化しているのでは、何かいい案がないものかと思っている。今日、他の自治体の意見を聞いて参考にしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●県の地震防災センターには、防災訓練の色々な事例が蓄積されている。連絡をとって、事例を教えてもらってはどうか。(市長)
壱町田1丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○11月25日に防災訓練を予定している。 ○内容は例年通りで、消火器の取り扱い、可搬ポンプ、三角巾の訓練を行った。今回、起震車とAEDは予約が入っていて使えなかった。 ○9組中3組の組長さんが、1次避難所の場所を知らなかった。 ○要援護者に関しては、事前に組長さんに名簿を確認してもらおうと思っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1次避難所に避難していないお宅があったら、自宅に黄色いハンカチがつるしてあるかを見に行き、無事かどうかを確認する取り組みを芝本町3丁目が行っている。話を聞いてみたらどうか。(市長)
加茂川町2区	<ul style="list-style-type: none"> ○加茂川町1区と9月に合同で訓練を行った。 ○2区だけで無洗米を使った炊き出し訓練を行った。炊き出しは十数年ぶりの試みである。 ○例年と違う内容であったためか、参加者が過去最多だった。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ○次の日曜日に消防団に来てもらい、発電機、ポンプでの消火訓練を行う予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> ●火事を起こさないようにすることが重要である。(市長)

幸町	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化が進んでおり、防災訓練をできないのが現状である。 ○町内活動も最低限のことしかやっていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ○他の自治会の話聞いて今後の参考にしていきたい。 ○次回の役員の引継ぎのときに話をしたい。 ●防災意識を高めるために、県の防災センターに研修に行ってみたらどうか。(市長)
芝本町 1丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○9月に防災訓練を行った。 ○例年同じような訓練を行っている。消火器などの機器の点検、各組長による避難者の点呼、消火器・三角巾の使い方、3丁目と合同で炊き出し訓練を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ○消火器は、高齢者が毎回使えなかつたりするので、使える人が何人いるか把握しておく必要がある。 ○高齢者が多く、木造住宅が多いことから、今後、建物が倒壊した場合の救出訓練を取り入れる必要があると感じている。
大宮町 1丁目	<ul style="list-style-type: none"> ○11月18日に防災訓練を実施予定である。 ○発災後の炊き出しに力を入れていきたい。 ○普段、自主防災会が主となって機器の点検等行っている。 ○高齢化が急速に進んでいて、参加人数が集まらない。 	
文教町西	<ul style="list-style-type: none"> ○前回、『個人の備えが必要である』『地域のコミュニケーション、近所づきあいが大切である』ということ学んだので、それに基づいた訓練を行おうと思った。 ○例年、野外で訓練を行っているが、今年は屋内で図上訓練を行った。 ○市に防災リーダーを7名派遣してもらって、1グループ10名での訓練をした。目標の70名を上回る、78名の参加があった。 ○広い場所が必要だったので、会場は市民体育館を借りた。 ○朝10時から2時間の座学を行い、その後弁当を食べながら親睦会を行った。 ○いつもと少し違った視点から防災について考えられてよかった。 	
県営 壱町田 やまがみ 団地	<ul style="list-style-type: none"> ○9月2日に防災訓練を実施した。 ○訓練前日に、役員で防災機器の確認をした。 ○当日は約30名参加した。全体の168世帯と比較すると少ないが、例年に比べると多い。 ○初期消火の訓練、三角巾を使った応急救護の訓練を中心に行った。 ○団地なので、建物の構造上大掛かりな避難訓 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後、要援護者の救助を検討課題にしていきたいと思っている。

	<p>練はできなかった。</p> <p>○『自分の身は自分で守る』という観点で訓練を行った。</p>	
壱町田 2丁目	<p>○防災訓練は実施していない。高齢化やマンネリ化が原因である。</p> <p>○訓練はしていないが、防災について何か必要か話し合うようにはしている。</p> <p>○個人単位でそれなりに準備をしてほしいと話している。</p>	<p>○自主防災で購入した備品があるが、昔と環境が変わり、使用者が高齢化して対応できないので、揃えなおす必要がある。</p> <p>○トイレが問題である。少ないが簡易トイレは用意した。基本的には個人で用意してもらいたい。足りない部分は町内で補いたい。</p>
シャリエ 三島 壱町田	<p>○今年は避難訓練という形はとらなかった。</p> <p>○去年設置した AED の説明をした。自治会に入っていない人がいるため、全員が加入している管理組合が主体となって行った。</p> <p>○個人情報の取り扱いが難しかった。昼夜での在宅状況を把握するため、個々にアンケートをとった。封筒に入れて回収し、災害が起こったときのみ開封することになっている。行った意味があるのかと疑問の声が上がっている。</p> <p>○防災倉庫の中にある賞味期限に近い飲食物を使って炊き出し訓練を行ったかどうかという意見があった。</p>	<p>○芝本町では組長に家族構成を全部調べてもらった。マンションでも、個人情報だからという理由で拒否する家庭を除いてやってみたらどうか。それをやることで要援護者の問題も見えてくる。(芝本町 3 丁目)</p> <p>○避難訓練という形をとらなくても懇親会という形で近い将来実現できたらと思っている。</p> <p>●マンションほど災害時は大変なので、きずなづくりが必要である。(市長)</p>
北小学校	<p>○7月3日に PTA 主催で防災体験を行った。(PTA)</p> <p>○起震車とスモークハウス、消火器、AED、三角巾を行った。5~600人全員はできなかったが、学年ごとに行った。(PTA)</p> <p>○子供にとってプラスだったことに加え、先生・PTA がひとつのことを行ったことで一体感が生まれてきた。やることに意義があるのではなく、人が集まることに意義がある。(PTA)</p> <p>○子供たちには地域の防災訓練に参加するように言っている。</p> <p>○災害時に小学生や中学生が戦力になればと思っている。</p>	<p>○小学生から、学校の宿題として防災についてインタビューを受ける機会があった。学校でもっと防災に関する宿題を広く課してみてもどうか。(芝本町 3 丁目)</p>
北中学校	<p>○北中は避難場所に指定されている。前年度管理棟を造り、校舎の耐震化もできているが、体育館の耐震性がなく安全面で心配される。(PTA)</p>	<p>○耐震性を考えた建て替えを検討してもらいたい。(PTA)</p> <p>●耐震性はあるが老朽化しているので、近い将来建て替えた方がいいと思う。(市長)</p>

北幼稚園	<p>○北幼稚園は避難所に指定されていないが、避難所の北小学校に隣接している。災害時には避難所として開放できると考える。(PTA)</p> <p>○北幼稚園は鉄筋コンクリートなので、第一避難所は室内で、第二避難所は園庭になっている。よほどのことがない限り、避難所へ避難することはない。(PTA)</p> <p>○保護者との連絡は『子供安全網』というフェアキャストだが、3.11のときに機能しなかったようなので、今後は、『伝言ダイヤル171』を使った保護者との連絡等考えている。(PTA)</p> <p>○子供は保護者に引き取られるまで幼稚園に待機することになるが、広域の幼稚園なので引き取りまでに時間がかかる可能性がある。(PTA)</p> <p>○備蓄品が500mlの水150本、ドロップ、ビスケットぐらいしかない。予算の関係で増やすのは難しいので、今後は各家庭で子供の備蓄品を用意してもらい、それを幼稚園で保管したいと思っている。(PTA)</p> <p>○保護者も園児の引き取りということで、年に2回防災訓練に参加している。(PTA)</p> <p>○幼稚園の備蓄品には、携帯用マイク、携帯ラジオ、懐中電灯、救急薬品、毛布、はしご、のこぎり、ハンマー、バール、飲料水、テント、ビニールシート、バケツ、タオル等がある。災害時には地域の方に提供できる。(PTA)</p>	<p>○幼稚園の防災対策の内容を知らない保護者が多いので、今後は園のお便りやPTAだよりを利用して保護者に周知していきたい。(PTA)</p>
	<p>○北幼稚園は人気があり、抽選があるので必ず入園できるわけではない。兄弟が違う幼稚園に行くと保護者が大変になる。(体育振興会)</p>	<p>○何のために校区があるのか考えて、小さいときから地域づくりに関わっていく必要がある。(体育振興会)</p> <p>●担当者にまた伝えておく。(きずなづくり推進室)</p>
全体	<p>◇防災訓練について</p> <p>○ここ数年、各町内会の訓練内容の変化を感じる。避難誘導、仮設トイレやバケツリレー、AEDなどに取り組んでいる。(消防団)</p> <p>○アメリカで、小学3年生が AED で心肺停止を防いだ事例がある。AED は小学生でも充分使えるものである。(消防団)</p> <p>○消防団員でいながら、また避難所から離れた所に住んでいながら、現地配備員にあてられる人がいる。(消防団)</p> <p>○災害時、市の消防車が7台、分団では20台しかなく対応が難しくなる場合がある。(消防団)</p>	<p>○防災訓練を学校の行事としてカウントして、小・中学校の生徒に参加させるようにしてもらいたい。(消防団)</p> <p>●そのような問題がないよう対応するようにしている。今年、校区で防災訓練を行った所は現地配備員についても対応をしているので、おそらく問題はないと思われる。(市長)</p> <p>○自分達で可搬ポンプ等を使い対応してほしい。見ているだけの状態は避けたい。そのためにも積極的に訓練してほしい。(消防団)</p>

◇避難について	
○日中に被災した場合、お客様の誘導や避難場所はどうしたらよいか。(商店振興会)	○答えを持ち合わせていないが、より多くの人と話し合える校区単位なら、解決方法もあるかもしれない。(地域まちづくり研究所)
○どこの町内会も高齢者が多いということが問題になっているが、お年寄りはおそらく避難所までたどり着けない。(中央町2区)	○1次避難所があるとよいのではないか。(中央町2区)
○実際震災が起こったら、どこへ行ったらよいか迷ってしまう人がたくさん出てくるだろう。(一番町)	○1次避難所をみんなが認知できるようにする必要がある。(一番町) ○避難せずに済むのなら避難しなくてよいという認識を、徹底するのが大切だ。(一番町)
◇地域行事について	
○昨年、市内の子ども会に活動内容についてアンケートをとり、集計結果を各子ども会会長に渡した。近年、子供の減少で子ども会の活動は減ってきており、その活性化を狙っている。(子ども会連合会) ○お祭り、バスに乗ってボーリング、ディズニーランドなどお楽しみ会要素の強い活動内容が多い。(子ども会連合会) ○今年は三恵台の子ども会が、要援護者の家を一軒ずつまわって在宅かどうか地図にプロットし、町内会で発表した。子供会と自治会が連携したよい例である。(子ども会連合会) ○一番地域にいる確率が高いのは子供たちである。子供たちの目線で何ができるか考え、自治会が子ども会の活動に協力することで、子どもと自治会の将来を見据えたつながりを深めていくことができる。(子ども会連合会)	●地域のきずなをしっかりと作らなければならない。震災が起こったときに顔も知らないでは困る。地域のお祭りや運動会で、積極的にきずなづくりを行ってほしい。(市長)
	○市役所の大型バスは、各町内会が申請すれば出してもらえるのか。(芝本町3丁目) ●市の行事で町内会の方を招待する目的では使えるが、町内会に直接貸すことはできないのが現状である。(きずなづくり推進室) ●利用頻度が高く、民間のバスを借りることもあるのが現状である。それを町内会にも貸し出すとほとんど使えない状態になるので、理解していただきたい。(環境市民部長)
○高齢者と子供のきずなが大切であると考え、今年の校区の運動会ではその考えをとり入れた種目を作った。(体育振興会)	

<p>◇備蓄について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○可搬ポンプを各町内会で用意してもらいたい。高齢者が多いと難しいかもしれないが、隣の町内会と共有して1つ持つなど工夫してほしい。(消防団) ○可搬ポンプがなくても備品があれば消火栓から放水することができるので、防災倉庫に用意してもらえればと思う。可搬ポンプよりもお金がかからなくて済む。(消防団) ○昭和55年より前に建てられた建物をチェックして、地震で倒れた場合に備えて町内会でジャッキを用意するなど、震災に備えて準備をしておいてもらえればよいと思う。(北小学校) ○道路が通行できない、燃料がなくて車が動かないというときに備えてリヤカー、一輪車、自転車などを用意しておいた方がよい。(北小学校)
<p>◇地域の連携について</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●阪神大震災で、倒壊家屋の下敷きになった人を助けたのは60%が近所の人で、20%が家族だった。近所のきずなが防災にいかにか大事か分かってほしい。(環境市民部長) ●入会者が減り、だんだん町内会の力が弱くなっている。町内会を支えるのは、『向こう3軒両隣』から、最小単位の組である。組がしっかりしていると絶対強い町内会ができる。組長に役割を与える町内会が最近多い。組長をうまく使ってほしい。(環境市民部長) ●子ども会と自治会の連携、PTA と学校の連携など、きずな作りには色々な方法がある。校区で自主的に集まり、どうしたら校区のきずなができるのか、話し合ってみてほしい。(環境市民部長)